

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年5月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800178
法人名	社会福祉法人 鶴寿会
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	鹿児島県出水市汐見町89番地 (電話) 0996-67-3161
自己評価作成日	平成26年2月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年3月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設内外の高齢化・重度化に伴い外出に機会が制限され、地域の高齢者クラブも組織できない状況である。しかし、法人で行う行事があるのでそれに参加していただくことで、季節を感じて頂き、精神的な刺激となっている。特に夏祭り・敬老の日はご家族にも出席依頼をし、一緒に過ごして頂くよう働きかけをしている。
病気等への対応は法人施設に看護職員がいることで緊急時にも対応ができ、医療機関との連携もできている。また、グループ内に医療機関・老人保健施設・特別養護老人ホームが設置され、利用者の状態が変わってもケアが継続できるよう配慮できている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは海岸と道路ひとつ隔てた広大な土地に、同法人が設置する特別養護老人ホームやデイサービス等、高齢者福祉サービス事業所の一つでこれら事業所は、地域の福祉の中核を担って運営されている。また、事業者間の協力体制はとても密で、日々のケアに有効に活かされており、また災害時に対しても連携した対応の体制が構築されている。また、協力医療機関との連携も十分で、緊急時にも即時に対応できる等、医療、福祉両面に配慮したきめ細かな支援がなされており、利用者及び家族は安全で安心できる環境となっている。

○利用者の支援については、尊厳と誇りを大切に、その人らしさに十分配慮しながら、利用者主体の日々のケアはもとより、地域との交流や馴染みの人や場との関係の継続に努めている。

○管理者は、何よりも職員が信頼関係と円滑なコミュニケーションに基いて利用者のケアに取り組むことが、サービスの向上に反映すると考えており、職員のスキルアップに繋がる研修や職場環境の整備に積極的に取り組んでいる。そのため職員の要望や意見の把握に積極的に努め、介護福祉士等の資格取得希望者には外部の専門講師を依頼して学習の場を設けたり、また、就労しやすい環境づくりの改善策として、法人による施設内託児所も近日中に開設の予定である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は「さりげない見守り」「家庭的な雰囲気作り」「その人らしさを大切にケアします」としている。毎日朝礼時に理念を唱和している。	ホーム独自の理念に沿って、利用者の尊厳を大切に、日々思いやりのある支援に取り組んでいる。施設独自の理念は、食堂及び事務室の壁面に掲示し、毎朝の申し送り時に全員で唱和して共有を図っている。また、月1回開催の「職員会議」「ケア会議」でも随時研修を実施し、理念の理解とより良いケアにつながるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域での買い物や施設外レクで外出の機会をもうけている。又、高校生の職場体験を受け入れ利用者との交流や法人全体の行事に参加している。	地域で開催される運動会の見物や隣接のデイサービスに出かけて談笑したり、また法人全体で開催する「夏祭り」や「イルミネーション点灯」等の行事には家族や多くの地域の人々の参加者があり、交流やつながりを大切にしたい支援を行っている。踊り等のボランティアや高校生の職場体験等も積極的に受け入れており、散歩時の挨拶や友人の面会、また地域の人が野菜等を届けてくださる等、日常的に交流がなされている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症等に関していつでも相談に応えられる認知症サポート相談窓口として地域にPRしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には、利用者や家族・民生委員・評議委員・地域代表・地域包括支援センター・職員等が出席しホームの利用状況、イベント、ヒヤリハット等の報告などおこない意見交換をしてサービス向上に活かしている。	会議には民生委員、利用者、家族代表、地域住民、地域包括支援センター、法人評議員等が出席して定期的に開催されている。ホームの現況や行事、ケア状況等の報告を行い、委員からは地域の情報やヒヤリハット等に関する意見や助言等も出され、具体的に日々のサービス向上に役立っている。議事録は全職員が閲覧して周知を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議への参加、法人行事の敬老会に参加や利用者の福祉に関する相談など行い関係づくりを心がけている。	市担当者とは、日頃から制度や各種の手続きに関する事及びケアや運営に関する相談等を訪問や電話で行い、状況に応じた助言・指導を頂くなど密に連携を取っており、協力関係が築かれている。これらを利用者のサービス向上に反映させている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束については、身体拘束の研修会に参加し、職員一同が共通認識を図っている。	高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修を「養護施設従事者等における高齢者虐待と対応」を基に法人全体で実施し、また他機関が実施する研修にも積極的に参加して理解を深めるとともに、日々の支援の中で身体や言葉による拘束の無いように職員相互で喚起しあって、質の向上に努めている。外出したがる利用者には、同行して近隣を散歩するなど工夫して利用者の気持ちを大切に暮らしの支援に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市の包括支援センターに講師を依頼し、高齢者虐待防止等の施設内研修を毎年度実施している。日常的にその防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護、並びに人権に関する施設内研修を毎年度行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書や重要事項説明書の該当箇所を示しながら口頭で説明し、家族の不安解消に努めている。又、退去時も十分な説明を行い、納得してもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	介護相談員が利用者、家族と面談している。また、運営推進会議に利用者・家族が出席した際、要望等を聞き運営に反映している。	利用者の思いや意見は、声かけや所作の見守り等で把握すると共に、家族からは運営推進会議や電話、来訪時の対話の際に、話しやすい雰囲気を作り、遠慮のない意見や要望等を頂くように努めている。毎日の申し送りや「ケア会議」等で内容を共有し、対応を十分に話し合っており、可能な限りケアへの反映に取り組んおり、これらの結果は本人や家族に報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者は、法人事業所全体の職員会議や運営会議を通して意見や要望等を聞いている。また、勤務希望についても配慮している。	職員の意見や要望等は、「ケア会議」や日常のケアの中及び申し送り時等に、また内容によっては職員個々に合わせた声かけも行う等、話しやすい雰囲気作りに努めて把握し、管理者はこれらを業務改善や利用者へのサービス向上に反映できるように取り組んでいる。特にケアに関することは、職員の意見を十分傾聴し全員で検討して、質や意欲の向上に繋がるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	昇給、賞与等定期的に行っている。各人のスキルアップの為に便宜を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>勤務のローテーションを図りながら全職員が研修を受ける機会を得られるように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>出水・川薩支部認知症グループホーム連絡協議会に加入し、研修に参加し、お互いの研鑽を重ねている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の訴えに対して、出来る限り聞き取るようにしている。時に個別で対話を行う事により安心感を高めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時には、これまでの生活状態、心身状態を聞き取り問題になっている事や要望を明確にした上でホームでどのように過ごしていきたいかを伺っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族が今現在困っている事は何なのかを聞いて対応している。現在、満床のため即入居できないので、他のサービスや他機関への紹介等を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	全員一律ではないが、掃除など職員と一緒にいき、自分の役割りとして取り組んでいる入居者もいる。日常生活の中で入居者、職員が互いに支え合ったり学びあったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事の参加、通院への同行、状態の変化など事あるごとに報告・連絡・相談を行い協力を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人の訪問や、敷地内のデイサービス利用者の面会等継続的な交流を支援している。	利用前に本人や家族から、生活歴、病歴、地域の人との交流状況、趣味、嗜好等の聞き取りを行い各利用者の状況をアセスメントシートに記載して情報を共有しており、本人の希望に沿って行事への参加や馴染みの人や場との関係継続に家族と連携して支援している。遠方に居住している家族とは電話や手紙の取り次ぎ等により関係性の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	暮らしの中心となるリビングでは、一緒に洗濯物を畳んだり、運動、カラオケ、テレビ等を通じて交流を深める場を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	重度化に伴いグループホームから医療機関、併設特養に行かれた人がいる。職員と本人、家族の馴染みの関係は続いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来る限り本人の希望の把握に努めている。本人の意思を尊重した生活ができるように職員が情報を共有して支援している。	職員は日頃の利用者の表情や言動、また家族からの情報を基にして、思いや意向を汲み取るように努めている、申し送り帳やケース台帳に記録して情報の共有を図り、家族とも相談しながらプランに反映させ、利用者にとってよりよい支援となるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にキーパーソンとなる家族から生活歴を伺うこと以外にホームでの暮らしの中で知り得た本人の暮らしの一端を記録に残し職員全員で共有し活用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人一人の生活のリズムを理解し、行動や言葉、表情からその人の全体の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族の意見を聞きケア会議を開催し現状に即したプランになるように作成している。モニタリングも3ヶ月毎に実施している。	介護計画は、利用者及び家族の思いや意見を十分聞き取り、また、主治医や看護師をはじめとする関係者や、担当職員の意見も聴取して「ケア会議」で十分検討して利用者本位のものを作成している。計画は本人及び家族が了解のうえ実施し、支援の経過はケース記録等に丁寧に記入されており、計画の見直しや修正も適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアの実践、結果は個々に記録し、職員間で情報を共有し利用者に適した介護計画書の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況を見ながら家族の要望に応じられるように、各事業所との連絡を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練に消防署の立合いを求め指導を仰いだり共同の訓練を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医を確認している。協力医療機関の定期的な往診があり、緊急時の医療連携もできている。	利用者の入所前の病歴や受診の状況は十分に把握されており、本人や家族が希望する医療機関での受診を支援している。通院は職員の同伴が多く、また協力医療機関の定期的な往診があり、受診結果はケース記録や申し送りノート等で共有している。かねてから医師や家族との連携や情報交換も適切に行われており、緊急時の医療連携も構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医の看護師などによく相談し、健康管理に努めている。また、併設施設の看護師の協力ももらっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の入院に際しては、疾患の状態が長期の入院加療を要するもの以外は病院関係者と密に連携して早期退院に向けた話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>グループホームとしての支援可能な範囲を管理者や職員とともに協力医と機会をみて話し合っている。状態変化時の対応も主治医の指示の下に行うことを家族にも説明を行っている。</p>	<p>重度化や急変時の対応については、利用開始時に説明して、本人やご家族の同意を得ている。協力医療機関とは密に連携が取れる状況であり、病状の変化等にも家族の意向を十分尊重して、施設で可能な限りの支援・対応ができる体制を築いている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変、事故のマニュアルを備え発生時に備えている。定期的に急変時、事故発生時、火災発生を想定した訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時は地域や隣接の特養からの協力体制が確立されている。</p>	<p>消防署や隣接の施設も参加して、火災、地震を想定した法人全体の避難訓練を年2回実施すると共に、消火器の取り扱いや、連絡体制、避難方法等の研修も実施している。また、法人が主体となって「地域防災協力会」も組織化している。災害時の食料や飲料水等は法人全体で備蓄、管理されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から排泄支援等の声掛けなどは、利用者の誇りやプライバシーを損ねないように職員間で話し合い心掛けている。	人格の尊重やプライバシーの確保については、「ケア会議」「職員会議」や申し送り等の中で研修や確認をすると共に、職員は日常的に意識し合って支援に努めており、利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないよう言葉遣いや対応に心掛けている。排泄や入浴時のケアに際してはもとより、居室のドアやカーテン等にも配慮し事業所が発行する情報誌に掲載する氏名や写真等についても事前に同意を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	物事が複雑である場合は必ず選択して頂く様に配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務に追われる事が多い中で、利用者との共同作業を通して共に歩むケアに取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合った衣服の調整に努めている。散髪は本人もしくは家族の希望によって行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立については、特養の栄養士が立てたメニューを調理している。誕生会は希望を取り入れた献立でおやつは利用者の好きな物を作るなど食事を楽しめるように工夫している。	利用者の嗜好、食事形態、疾病や服用中の薬との影響等を十分に把握して、栄養士が作成したメニューを基本に、差し入れの野菜や施設の菜園の野菜も活用して食事づくりに努めている。季節感のある食材や行事食、ドライブ時のお茶等、食事を楽しめるように工夫しており、食材の下ごしらえや下膳等は利用者も一緒に楽しみながら行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事の摂取量のチェック、水分摂取の把握を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後働きかけを行い口腔ケアを行っている。出来る方は見守り、出来ない方は洗面所まで誘導し促しや介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し適時の声掛けと排泄のサインを見逃さないようにトイレ誘導をしている。	利用者個々の習慣や身体機能に応じた排泄支援になるように、排泄のパターンを把握し不安や羞恥心にも十分配慮しながら可能な限りトイレで排泄できるように支援している。重度の利用者には、適切な支援になるように用具等も工夫して対応しており、これらはケアプランにも組み込んで各人の状態に添った支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は出来るだけ食物繊維を取り入れ水分補給に努めている。施設内の歩行など運動への働きかけを行っている。排泄チェックは毎日行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に入浴日を決めているが、希望があれば入浴できる体制をとっている。	入浴は基本的には週3回であるが希望があればいつでも入浴可能であり、失禁等には随時シャワー浴や清拭を行うなど衛生面にも留意しながら、可能な限り好みの時間帯での入浴をゆったりと楽しんで頂いている。入浴を拒否される場合には無理強いしないで、言葉かけや介助者、時間帯の変更を行うなど、スムーズに入浴して頂けるように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の体調に合わせて、自室での休息や臥床を促している。その際、不安を和らげ安心感を持って頂けるように様子を見に行く事や声掛けを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を個別に保管している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	手芸、散歩、園芸等その方に応じた支援を行っている。誕生会では、歌やゲームを行い特養への慰問にも参加し楽しんでる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節に合わせて、桜見物・薔薇見物、ぶどう狩りに出かける。天気の良い日は散歩をしている。また、墓参りや自宅訪問等の外出希望には家族の協力を得ながら希望に添えるように支援している。	利用者の健康状態や天候を考慮しながら、近隣の散歩、ドライブ、園庭での日光浴等を日常的に楽しんで頂いている。また利用者の希望も確認しながら隣接のデイサービス事業所に出かけて利用者と交流するなど、外出が楽しみなものになるように工夫している。歩行困難者にはリフト車を活用して外出している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持については本人、家族と相談の上、本人管理となっている。また、時々買い物に出掛けたりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話や手紙のやり取りは自由になっている。本人が出来ない場合は職員が手伝っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共通空間は食堂とリビングがある。季節の花を飾ったり、壁には季節に応じた飾りつけを行っている。	食堂と談話室が一体化されており明るく余裕があり、テーブルセット、ソファ等が設置されており、広い園庭や周囲の景色が眺められるなど、好みの場所で静かに気持ちよくくつろげる空間となっている。壁には利用者が作成した季節感のある作品や行事の際の写真、花等が飾られて和やかな雰囲気作りの工夫がなされている。空調にも細かく配慮されており、不快に感じる音や匂いもなく快適な環境である。利用者間の交流状況にも配慮して座席も決めるなど、心地よい居場所の確保に努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共通空間であるリビングにはソファを置き、夏にはゴザを敷きゆっくり過ごせるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族には親しんだ物品を居室に置いてもらうように働きかけ、ラジオ・写真を置いている。</p>	<p>各居室に洗面台、ベッド、エアコン、床頭台、タンス、椅子が備えてあるが、本人やご家族の希望により仏壇、家族写真、使い慣れた小物、花、携帯電話等を自由に持ち込んで頂き、その人らしく好みの配置にされるなど、家庭と同様に落ち着いて過ごせるような居室づくりを支援している。また、畳部屋の希望の利用者には、畳を入れて和室に変える等、要望に添った対応をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下、トイレ、浴室に手すりを設置している。廊下には足元ライトをつけ安心してトイレに行けるように工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない